

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の分析と改善に向けて

1 調査の概要

- (1) 実施期日
令和6年4月18日(木)実施
- (2) 調査対象学年
小学校第6学年(日田市:499人) 中学校第3学年(日田市:475人)
- (3) 調査内容
◇教科 小学校第6学年 国語、算数
中学校第3学年 国語、数学
◇質問調査(児童・生徒)
- (4) 調査内容の説明
◇「知識」に関する内容と「活用」に関する内容を一体的に問う調査問題
◇質問調査(児童・生徒)
・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- (5) 用語の説明
◇正答率:全設問に対して児童生徒が正答した割合(集団の場合は平均値)。
◇全国比:全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。
◇偏差値:個人や集団の相対的位置を、50を基準とした指数として表す指標。

2 結果の概要

【小学校6年生】

≪平均正答率(%)≫※色付き部分は全国値以上

	小学校6年生	
	国語	算数
日田市	68	62
大分県	69	63
全国	68	63
全国比	100	98

【中学校3年生】

≪平均正答率(%)≫※色付き部分は全国値以上

	中学校3年生	
	国語	数学
日田市	52	42
大分県	58	50
全国	58	53
全国比	90	80

3 教科に関する調査結果の分析及び改善の方策

小学校6年生 国語

①結果の概要

国語	教科全体	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式		
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に学 習に取り組 む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	68	62	86	74	59	71	72	68	67	-	69	57	72
大分県	69	65.7	87.6	76.9	60.6	70.4	73.8	71.2	68.0	-	70.8	62.1	69.6
全国	67.7	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7	69.8	66.0	-	69.9	59.7	64.6
全国比	100.4												

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

<p>言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>●学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んだり、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書いたり、文や文章の中で使ったりするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと</p>
<p>情報の扱い方に関する事項</p> <p>●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと</p>
<p>書くこと</p> <p>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること</p>
<p>読むこと</p> <p>○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること</p> <p>●登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること</p>
<p>学びに向かう力に関連すること</p> <p>○無回答率（解答しなかった児童の割合）は全ての問題において全国よりも低い。</p>

③具体的な授業改善の方策・ポイント

<p>○図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使う。</p> <p>様々な図示の方法に触れることを通して、児童がそれぞれの方法で考えを明確にしたり思考をまとめたりすることができることを理解し、使うことができるようにすることが大切である。図示の方法については、語句と語句とを関係付けたり、一定の観点に基づいて順序立てたりするために線を用いて結ぶ表し方や、似ている事柄をまとめたり、よい点と問題点を分けたりするために丸で囲む表し方などが考えられる。「B 書くこと」の関連を図ると指導の効果を高めることも考えられる。</p> <p>○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにすることが大切である。そのためには、取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、事実と考えとの関係を明確にできるようにする必要がある。その際、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認めたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いていないかを確認めたりする場面を設定することも大切である。</p>
--

小学校6年生 算数

①結果の概要

算数	教科全体	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	62	66	67	-	49	58	72	50	-	74	60	52
大分県	63	66.0	66.8	-	48.3	61.9	72.5	50.7	-	75.6	60.8	51.0
全国	63.4	66.0	66.3	-	51.7	61.8	72.8	51.4	-	75.3	62.0	51.0
全国比	97.8											

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

<p>数と計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを記述すること ●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと ●数量の関係を、問題場面通りに□を用いた式に表すこと <p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直方体の見取図について理解し、かくこと ○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること ○角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を記述すること ●球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと <p>変化と関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること ●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述すること ●速さの意味について理解すること <p>データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること ●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述すること ●示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること <p>学びに向かう力に関連すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無回答率（解答しなかった児童の割合）はすべての問題で全国よりも低い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

<ul style="list-style-type: none"> ○図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようにする 体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが重要である。 例えば、ボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べる活動が考えられる。その際、立方体を真上や真横から観察するなどして、球はどこから見ても同じ円であることや、その円の直径は球の直径と等しく、立方体の一辺と等しいことを理解できるようすることが大切である。 ○グラフを読み取り、見いだしたことを表現できるようにする 日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現できるようにすることが重要である。その際、グラフのどの部分を基に、必要な情報を読み取ったかを表現できるようにすることが大切である。 ○数量の関係を□などの記号を用いて、問題場面どおりに式に表すことができるようにする 問題を解決するために、未知の数量を□などの記号を用いて、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができるようにすることが重要である。
--

中学校3年生 国語

①結果の概要

国語	教科全体	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式		
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	52	51	54	76	54	56	41	56	49	-	55	59	35
大分県	58	58.8	57.8	80.3	58.3	63.4	47.5	62.1	54.6	-	60.5	61.9	44.6
全国	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9	62.0	55.4	-	61.0	61.8	45.5
全国比	89.5												

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

<p>言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文の成分の順序や照応について理解すること ● 文章の中で用いられている表現の技法について理解すること
<p>情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報と情報との関係について、意見と根拠の関係を理解すること
<p>我が国の言語文化に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行書の特徴を理解すること
<p>話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること ● 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること
<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること ● 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること
<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること ● 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えること ● 目的に応じて必要な情報に着目して要約すること
<p>学びに向かう力に関連すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無回答率（解答しなかった生徒の割合）は15項目中13項目で全国よりも高い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

<p>○目的に応じて必要な情報に着目して要約する。</p> <p>要約する際には、目的を明確にすることが大切である。その上で、要約したものが目的に沿っているかを考え、必要な情報を正確に捉えて要約することが重要である。</p> <p>例えば、目的や相手を明確にして、実生活の中にある文章の内容を要約して伝える学習活動が考えられる。その際、目的に応じて必要な情報を適切に取り出してまとめられているか、自分の言葉を用いてまとめた部分と文章の内容とに隔たりがないかなどを確認しながら、適切さや正確さを意識して要約することができるように指導することが大切である。また、雑誌やインターネットニュースの記事などを教材として用いることで、実生活とのつながりを意識できるように指導することも効果的である。</p> <p>○自分の伝えたいことが伝わるように、表現の効果を考えて工夫して書く。</p> <p>自分の考えが伝わる文章になるように工夫する際には、用いた語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを確認めながら、より効果的な語句や表現を選ぶことが重要である。その際、自分が読み手に伝えたいことを明確にし、そのねらいに応じた表現の工夫ができているかを確認めることができるように指導することが大切である。</p>
--

中学校3年生 数学

①結果の概要

数学	教科全体	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	42	38	29	55	45	53	19	-	51	54	19
大分県	50	49.4	36.5	59.5	52.8	61.0	27.0	-	57.3	64.0	27.0
全国	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5	63.1	29.3	-	58.5	67.0	29.3
全国比	80.0										

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

<p>数と式</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すこと ●等式を目的に応じて変形すること ●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること ●統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること <p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> ●回転移動についての理解 ●筋道を立てて考え、証明すること ●問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すこと <p>関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフにおける y 軸との交点について、事象に即して解釈すること ●グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈すること ●一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解すること ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること <p>データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●簡単な場合について、確率を求めること ●与えられたデータから最頻値を求めること ●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること ●複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること <p>学びに向かう力に関連すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ●無回答率（解答しなかった生徒の割合）は全ての問題で全国よりも高い。
--

③具体的な授業改善の方策・ポイント

<p>○授業では、育成したい資質能力を明確にし、特に知識技能をしっかり定着させる授業づくりを行う。また、定着できているかの見取りと補充を徹底する。</p> <p>○ 事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明する活動の充実 事柄が一般的に成り立つ理由を、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明する活動を取り入れることが大切である。例えば、「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍になる」ということを説明するために、計算結果を表した式を「$2 \times (\text{○に入れた整数の和})$」の形にすればよいという見通しをもって、式を変形できるようにすることが大切である。</p> <p>○ データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する。 データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるように指導することが重要である。その際、判断の理由を箱の位置や四分位数などを根拠として説明できるようにすることが大切である。</p>
--

4 児童・生徒質問調査結果について

- (1) **生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況** (数値は肯定的回答の割合 %)

※色つき：全国値より5ポイント以上

※太線枠：全国値より5ポイント以下

【自尊心・将来に対する意識・学校生活・規範意識等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	84.6	85.1	84.1	82.1	83.9	83.3
将来の夢や目標を持っていますか	86.6	82.6	82.4	63.4	67.1	66.3
学校に行くのは楽しいと思いますか	81.1	84.5	84.8	83.4	85.3	83.8

【基本的な生活習慣・幸福感】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎日食べていますか	92.9	93.2	93.7	90.0	91.5	91.2
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.7	91.8	91.7	87.9	90.3	89.8

【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	7.3	8.6	11.6	6.6	6.8	7.3
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	87.0	84.6	83.5	82.0	78.6	76.1

- (2) **教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況**

【国語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
国語の勉強は好きですか	69.4	68.1	62.0	73.0	70.2	64.3
国語の勉強は大切だと思いますか	95.5	95.1	94.5	93.4	84.6	82.7
国語の授業の内容はよくわかりますか	85.8	88.6	86.3	80.4	84.6	82.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.3	93.7	93.2	91.1	91.9	90.6
解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全て最後まで書こうと努力した	88.5	84.4	79.1	68.8	72.3	72.0

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	66.6	62.2	61.0	56.4	57.4	57.2
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	95.8	94.6	94.6	87.6	89.1	87.2
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	84.2	83.3	82.1	71.3	72.6	75.7
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.0	94.4	94.1	83.2	81.2	78.5
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	84.7	82.9	78.7	44.7	50.5	50.0

【英語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
英語の勉強は好きですか	76.7	70.3	69.3			
英語の勉強は大切だと思いますか	91.3	91.7	92.1			
英語の授業の内容はよく分かりますか	76.7	78.7	78.3			
1, 2年生のときに受けた授業では英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか				77.7	84.5	83.3
1, 2年生のときに受けた授業では英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか				79.5	87.4	85.6
1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか				65.3	71.6	68.8
1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか				71.7	81.1	82.4
1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか				76.8	86.5	85.7

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	87.0	87.1	86.3	81.4	87.1	86.1
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.6	83.2	81.9	74.9	87.1	86.1
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.3	62.2	67.6	57.0	58.4	64.8

「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだかどうか

(3) 分析

【小学校6年生】

- 教科の愛好度が全国に比べて非常に高く、意欲があることがわかる。
- 記述問題に対して「全てで最後まで書こうと努力した」と回答した児童の割合が全国よりも高く、最後まであきらめず取り組む粘り強さがある。

【中学校3年生】

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」生徒が、全国や県に比べて5ポイント以上数値が高く、将来に向けて志を持っていることがうかがえる。
- 国語に対する興味関心や授業の理解度では、全国値を10ポイント以上上回っている。正答率と相反することから、今後の授業改善次第で理解度は増すと考えられる。
- 数学に対し、「大切だと思う」「学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う」とする生徒が全国値を上回っているが、それに反して数学に対する愛好度は全国値を下回っている。「数と式」の領域の正答率が、他の領域に比べて低く、また、知識技能の観点での開きが大きいことから、まずは「わかる」授業づくりと「できた」を感じられるように定着が求められる。
- 英語では、質問されたすべての項目で全国値を下回っている。特に、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動を行われていたか」に肯定的に回答する生徒の割合が全国値を大きく下回っている。
- 今年度も引き続き、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合が全国値を5ポイント以上下回っている。また、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合も全国値を5ポイント以上下回っている。

(4) 改善の方策

- ◇児童生徒の実態、教材の特性、教師の願いをもとに、単元を通してどんな力を付けたかを明確にした授業の実現（単元構想、単元計画の充実）
- ◇学びに向かう力を育成するためにも、児童生徒とのめあての共有、目的意識をしっかりと持たせて取り組ませる。
- ◇教科に対する愛好度を高めるために、授業の「振り返り」の時間を活用し、「本時の自身の学びや成長を振り返る」時間を充実させる。
- ◇家庭学習も含め、AIドリルや問題データベースの活用と確かな見取りによるやり直しや補充学習の徹底

5 クロス集計について

(1) クロス集計結果の概要（色付きは最も正答率が高いもの）

①児童生徒の朝食を食べる割合と平均正答率の関係

【朝食を毎日食べている】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生	
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率
している	69.3	63.2	53.6	44.9
どちらかといえば、 している	63.2	58.4	46.1	34.2
あまりしていない	61.9	61.8	41.1	29.5
全くしていない	53.1	59.8	51.8	32.5

②個別最適な学びと平均正答率の関係

【5年生までに（1、2年生の時に）受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたか】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生	
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率
当てはまる	72.0	67.0	54.7	45.6
どちらかといえば、 当てはまる	67.3	61.8	52.9	43.3
どちらかといえば、 当てはまらない	61.4	57.6	46.9	35.7
当てはまらない	55.8	39.8	36.7	32.2

③児童生徒の1日当たりのゲーム時間と平均正答率の関係(平日)

【普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生	
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率
4時間以上	63.6	60.9	43.8	30.4
3時間以上、4時間未満	59.9	57.8	46.3	36.4
2時間以上、3時間未満	66.6	62.1	47.8	40.2
1時間以上、2時間未満	71.7	64.2	56.4	48.4
1時間未満	74.5	65.9	60.4	50.8
全くしない	70.9	63.7	62.6	55.8

(2) 分析結果

- ・「朝食を毎日食べる」等、基本的な生活習慣が確立している児童生徒は、平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・「前学年までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」と回答する児童生徒ほど平均正答率が高いことから、個別最適な学びが行うことは、児童生徒の「わかった」「できた」を経て学力向上に結びついているといえる。
- ・昨年度に引き続き、児童生徒の平日1日当たりのゲーム時間と平均正答率の関係を見ると、ゲーム時間が少ないほど正答率が高い結果となった。中学校においては、「全くしない」と「4時間以上」で、20点以上の正答率の開きがあることがわかる。

(3) 改善の方策

- ◇学校便り、ホームページ等を通して、規則正しい生活と学力の相関関係を示し、基本的な生活習慣の確立に向け家庭への協力を求める。
- ◇学力向上会議や学校運営協議会、学級懇談会で議題に取り上げ、メディアとの関わりに対するルールの見直し、学習時間の確保に向けた取り組み、補充学習の時間や場所の拡大など、具体的な対策を学校だけでなく、家庭・地域と共に考える。
- ◇授業でも個に応じた指導を組織的・計画的に実施し、時間を効果的に使い補充学習を行う。個に応じ、やり直しなどを徹底する。

6 学校質問調査結果について

(1) 学校質問調査結果の概要(数値は肯定的回答「よく行った、どちらかと言えば」の割合 %)

※色つき：全国値より5ポイント以上 ※太線枠：全国値より5ポイント以下

【生徒指導等】

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
調査対象の児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	88.8	83.7	85.5	91.7	92.3	93.8
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか	83.3	92.3	90.6	100.0	96.5	95.0

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができているか	88.9	94.3	88.2	91.6	93.1	88.4
習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	88.9	91.5	87.4	100.0	90.6	86.6
言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	100.0	99.5	96.0	100.0	99.5	98.7
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	94.5	92.6	87.2	83.3	92.3	89.7
授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	94.5	92.7	89.3	91.6	90.6	85.1

【授業改善・学習指導：国語に関すること】下段(斜体)：「よく行った」回答の数値

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか 調査問題2-2	100.0 27.8	95.1 30.5	90.0 19.5			
目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか 調査問題1三	100.0 16.7	97.2 30.5	92.6 22.2			
目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか 調査問題2二	94.5 38.9	97.2 41.9	94.9 29.8			
登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか 調査問題3三	100.0 44.4	97.6 43.5	96.9 35.5			

話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか 調査問題 2 二				100.0 50.0	94.9 39.3	93.9 28.7
話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか 調査問題 1 四				91.7 41.7	94.9 34.2	91.5 29.7
自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか 調査問題 3 四				100.0 58.3	95.7 44.4	95.8 39.4
説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行いましたか 調査問題 2 四				100.0 50.0	96.6 41.9	95.4 35.3

【授業改善・学習指導：算数・数学に関すること】 下段（斜体）：「よく行った」回答の数値

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	94.4 44.4	93.5 37.0	92.3 27.6	91.7 41.7	87.2 26.5	88.5 22.3
具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	94.4 50.0	97.1 46.7	94.6 35.9			
観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか				91.7 50.0	92.4 27.4	85.7 22.7
問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	100.0 50.0	97.9 52.0	96.2 44.0	91.7 50.0	94.8 41.0	94.8 41.6
児童生徒がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか	94.4 50.0	97.2 50.0	94.8 38.5	100.0 58.3	92.3 48.7	95.5 42.3

【授業改善・学習指導：英語に関すること】 下段（斜体）：「よく行われていた・行った」回答の数値

質問事項	生徒が回答した数値			学校が回答した数値		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
英語を聞いて（一文一文ではなく全体の概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	77.7 34.7	84.5 41.4	83.3 37.1	100.0 50.0	96.6 37.6	94.5 38.2
英語を読んで（一文一文ではなく全体の概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	79.5 35.5	87.4 43.5	85.6 38.8	100.0 58.3	95.7 41.0	96.2 41.8
原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	65.3 23.4	71.6 31.0	68.8 28.1	75.0 33.3	75.2 22.2	79.3 24.8
スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	71.7 32.3	81.1 43.2	82.4 44.0	83.3 33.3	78.6 34.2	88.4 33.9
自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	76.8 36.6	86.5 49.1	85.7 44.9	100.0 33.3	93.1 35.0	92.5 34.7

【家庭学習】 下段（斜体）：「よく行った」回答の数値

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	94.5 <i>33.3</i>	97.1 <i>34.6</i>	96.1 <i>36.0</i>	100.0 <i>66.7</i>	99.1 <i>47.0</i>	91.9 <i>32.9</i>
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	61.1 <i>33.3</i>	86.6 <i>42.7</i>	89.7 <i>27.7</i>	91.6 <i>58.3</i>	94.9 <i>36.8</i>	84.0 <i>24.7</i>
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、児童（生徒）が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かしましたか	88.9 <i>38.9</i>	93.5 <i>55.3</i>	87.8 <i>34.6</i>	91.7 <i>75.0</i>	94.9 <i>36.8</i>	82.8 <i>21.6</i>

【家庭や地域との連携について】

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	100.0	97.1	88.9	91.6	95.7	84.1

(2) 分析結果

【小学校】

- 「授業改善・学習指導」に関連する質問事項の多くで、全国値と同程度以上となっており、各学校において組織的な授業改善が行われていると考えられる。特に、「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができているか」については全国値を大きく上回っている。
- 「前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行ったか」については、全国値を大きく下回った。

【中学校】

- 「授業改善・学習指導」では、「授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか」という質問に対し肯定的な回答が全国値より5ポイント以上高くなっており、「総合的な学習の時間」を中心として生徒の探究的な学びが実現できていると考えられる。
- 「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができているか」については、全国値より5ポイント以上下回る結果となった。
- 「学習指導・英語に関すること」では、すべての質問事項に対し肯定的な回答が全国値を上回る・同程度となっているものの、生徒質問調査での同質問に対する肯定率はすべて全国値を下回っていることから、授業者と生徒の授業に対する捉え方に違いがみられる。

【小・中共通】

- 「生徒指導に関すること」の調査から、肯定的な回答が高く、児童生徒は落ち着いて授業を受けていることがわかるが、相談体制については、小中で隔たりがあることがわかった。
- 「家庭や地域との連携」に関連する項目については高い水準を維持しており、学力向上会議や学校運営協議会等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まっている。

○家庭の社会経済的背景（SES）が低い児童生徒ほど、各教科の正答率が低い傾向が見られるが、「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだ児童生徒は、SESが低い状況にあっても各教科の正答率が高い傾向が見られる。

※令和5年度調査の英語の結果を活用した専門的な分析（R6 結果概要より）

○社会経済的背景（SES）と英語力の関係

- ・SESが低い場合であっても、言語活動が行われていたり、英語学習の興味・関心や授業の理解度が高かったりする場合は、英語力が高くなっており、SESの影響よりも英語授業の効果等の影響は大きい。

○SESが低く英語力の高い学校の英語授業

- ・SESが低く英語力の高い学校の訪問調査では、やり取りを中心とした授業展開が多く、言語活動を中心しつつ、語彙や文法事項などの正確さに焦点を置いた練習が豊富に行われていた。

(3) 改善の方策

- ◇学校質問調査と児童生徒質問調査の乖離がみられる指導に対しては、単元計画やめあてを児童生徒と共有し、ゴールや目的を明確に持たせた授業を行う。
- ◇日田市アクションプランの取組指標にもあるように、昨年度同様、管理職・教務主任等による授業参観及び計画的な互見授業の取組等により、組織的な授業改善を推進していく。
- ◇近年増加傾向にある経験年数の浅い教員の育成のためにも全校または学年部において学級経営や学習規律等の共通理解を図り、児童生徒の学びに向かう環境を整える。

7 今後の取組について

**「学習内容がわかりつつある児童生徒には、ドリルで定着させる。
わかっていない児童生徒には、ドリルではなく理解させるための授業改善。」**

青山学院大学 益川弘如教授の言葉 (2024. 7. 22)

今の日田市の現状から、点数を偏差値50まで上げなければいけないのだが、「点数を上げる」という言葉は実に抽象的である。具体的に何をすればよいのかは、各学校の実態に応じて考えるべきであるが、日田市としては、まずは以下3つの仮説を立て、全校一斉に揃えて実践を重ね、まずは1月日田市実施学力調査で検証する。

(1) 3つの仮説検証の取組

① C児をB児に引き上げることに焦点を当てた授業改善を行えば、全ての児童生徒が「わかった」「できた」と感じるのではないだろうか。

授業改善の再確認…Cの児童生徒をBにする授業ができているか。

具体的には、学力調査で小学校・中学校共に、評定1・2の児童生徒を1段階上げるための授業改善を進める。可能な限り評定3→評定4へ

- (1) 子供の実態を総合的な数値だけでなく、個人を見つめなおす。
 - ・各教科5段階別一覧表を学級ごとに作成し、校内で共有する。
 - ・その学年を指導する教員で一覧を共有し、評定1・2の児童生徒が「わかった」「楽しい」と感じられるような手立てを工夫した授業を行う。
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びを適切に使い分けて、「わかる」授業づくりをする。
- (3) 定着状況を把握するための評価や評価問題の実施。振り返りでの把握。
- (4) 定着が不十分な児童生徒には、できる限りの補充学習を行う。(Qubenaの活用)
例：帯時間でQubenaを行い、補充が必要な子供には直接指導を行う。など
- (5) 1月調査では質問調査がないため、学校独自で教科の学習が「好き」「わかる」を把握し、更なる分析・改善を行う。 ※小5・小6・中2は数値の報告を依頼する。

②組織的・継続的にQubenaに取り組めば、児童生徒の知識技能の力がつくのではないだろうか。

Qubenaでドリル学習を強化することで、知識技能、特に理科・社会の定着を図る。

担任や教科担当任せではなく、学校組織としてQubenaに取り組む。

- (1) 取り組む時間(帯時間・授業開始5分間など)を学校で統一する。
- (2) ワークブック・5分間復習など、何をするかを把握している。
- (3) 家庭学習でも活用し、繰り返し何度も何度も解かせる。
- (4) 自動採点であっても、理解度の見取りは確実にする。

③教科に関する調査及び質問調査の結果から、家庭と連携した取組をすれば、学習への関心が高まるのではないだろうか。

質問調査を含めた調査結果の分析を行い、具体的な対策を作成し、校内で共有する。

前述の「家庭での学習習慣に関する質問」や「家庭でのメディア使用時間に関する質問」の数値が近年変化していることは学力低下の一要因になるのではないかと考える。

- (1) HPへの公開、学校だよりなどを活用し、現状を知らせる。
- (2) 学力向上会議や学校運営協議会での議題に取り上げ、メディアルールを作ったり、家庭学習時間チェックをしたりするなど具体的な対策を講じる。
- (3) 家庭と連携した具体的な取り組みを2学期から強化する。

(2) 各学校による調査結果の分析と具体的な対策の作成及び取組

- ・各学校は8月下旬までに、自校の学校質問調査と児童生徒質問調査及び、日田市分析、国立教育政策研究所の報告書や結果資料を参考に調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしたうえで、授業改善等の具体的な対策を講じ、2学期から取組を始める。

(3) 研究主任会の定期的開催（オンライン）

- ・日田市が目指す組織的な授業改善及び学力調査結果をもとにした授業改善に関する説明を校種別に開催する。
- ・2学期の3つの仮説検証の取組の進捗状況を交流する。

(4) 他市町村に学ぶ取組

- ・参考となる他市の視察に行き、好事例を取り入れる。
教科部会等を通じて共有を行う。

(5) 教科部会で授業改善研修の実施

- ・全教科担当者が参加する場において、大学教授や県の指導主事を招き、授業研究会とは別の研修を実施する。